

会 議 録

会議名 (審議会等名)	相模原市男女共同参画審議会 (令和 4 年度第 1 回)			
事務局 (担当課)	人権・男女共同参画課 電話 042-769-8205 (直通)			
開催日時	令和 5 年 3 月 3 1 日 (金)			
開催方法	書面開催			
出席者	委員	1 5 人 (別紙のとおり)		
	その他			
	事務局			
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数
公開不可・一部不可の場合は、その理由	書面開催のため			
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 会長及び副会長の選出 2 議題 令和 4 年度相模原市男女共同参画年次報告書 (案) について 3 報告事項 審議会等における女性委員の参画状況 (令和 4 年 3 月 3 1 日現在) について 			

審 議 経 過

(審議を書面等で行った理由)

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために、委員等が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であったため、書面により委員の意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

1 会長及び副会長の選出

(1) 会長及び副会長の選出方法について

他薦多数の委員を、会長又は副会長として選出することとした。

(2) 会長について

前会長である永井暁子氏 (日本女子大学人間社会学部社会福祉学科 准教授) について多数の推薦を得たため、同氏を会長とする。

(3) 副会長について

前副会長である矢野由佳子氏 (和泉短期大学児童福祉学科 准教授) について多数の推薦を得たため、同氏を副会長とする。

2 議題

令和 4 年度版相模原市男女共同参画年次報告書 (案) について

(永井会長) 各ページについて、〇〇ポイント増加、減少という表記になっているが、〇〇ポイント上昇、低下に修正したほうがよいと思う。また、各指標の年度の下に (出所年月) あるいは (データ年月) といった表記を追加記載したほうが分かりやすいと思う。

(事務局) いただいたご意見を踏まえ、〇〇ポイント増加、減少という表記を、上昇、低下と修正させていただく。

また、各指標の年度の出所年月については、5 ページの 1 行目 成果指標、「施策の達成状況を数値的に把握します」の箇所を、「カッコ内の出所年月時点における施策の達成状況を数値的に把握します」と修正させていただく。

(岩永委員) 48 ~ 49 ページの「DVに関する相談及び保護体制の充実」における各事業と関連するが、スーパーバイズにあっては、色々な相談を受ける職員等が合同で実施するなどの連携をしていく必要がある。

(事務局) スーパーバイズの実施にあたり、研修ニーズの把握などにより、資質向上に努めてまいりたい。

(岩永委員) 令和 6 年度 (2024 年度) 施行の「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」も公布されている。なお一層質の高い女性支援を期待している。

- (小林委員) 13ページの「働く場における女性の活躍推進」の「施策の基本方向 1 民間における女性のキャリア形成の支援」及び「施策の基本方向 2 男女がともに働きやすい環境づくり」の [取組結果の分析・評価] についてであるが、両方に「事業所における女性管理職の割合(指標番号8)について、基準値と比較すると2.7ポイント低いことから...。」と記載がある。基本方向は異なっているが、類似表現されているところが気になる。
- (事務局) いただいたご意見を踏まえ、施策の基本方向2の [取組結果の分析・評価] について、「職場環境における男女の地位が平等になっていると感じている市民の割合(指標番号9)は、令和9年度の目標値30%と比較すると隔たりがあるため、」と修正させていただきたい。
- (鎌田委員) 男女共同参画に関する種々の施策を拝見したが、誰もがいきいきと暮らせる環境づくりが必要であると思う。例えば若年層の方が子供を連れていた場合又は高齢者にお会いした時等は気軽に声をかけあったり、障害者には温かい気配りをもって接することができるよう、これからも努力をし、続けていこうと思っている。また、明るい社会の向上に努めてまいりたいと思う。
- (西岡委員) 6ページの「あらゆる分野における男女共同参画の推進」における各成果指標について、様々な分野で女性の割合は増えているのは良い傾向であると思うが、数字だけでなく、意見が記載されているとよいと思う。また、10ページの「男女共同参画社会の実現に向けた意識改革」について、意識を変えていくのは簡単ではないが、年齢層の若い方々の間では目標値に近づいているのではないかと思う。
- (事務局) 令和4年度に市民意識調査・事業所調査を実施したため、令和5年度の年次報告書においては、各成果指標に対する傾向等の記載を検討したい。
- (西岡委員) 17ページの「施策の基本方向1 DVに関する相談及び保護体制の充実」について、DVに関わる相談場所がさらに周知されるような施策があるとよい。
- (事務局) 現在も多様な媒体を通してDV相談に関わる啓発を実施しているが、他自治体での啓発方法なども参考にしながら、より相談先が周知されるような方法を研究してまいりたい。
- (竹内委員) 18ページの「施策の基本方向3 DV根絶に向けた取組の推進」について、学校現場において、性教育と合わせて中学生のデートDVなどの防止についての内容を、時間を要して深めていく必要性を感じている。
- (事務局) 教育委員会へいただいたご意見をお伝えさせていただく。なお、デートDV防止の啓発カードを中学3年生に配布しているが、教育委員会と調整し、啓発効果が高まるよう、令和3年度より、配布時期を11月から夏休み前に変更している。
- (中西委員) 成果指標で令和3年度の数値及び年月が令和2年度と同じ部分と違う部分がある点について、どこかで説明がなされているのか。
- (事務局) 成果指標については、関係各課で実施している調査の時期により異なっているため、一致させることが難しい状況となっている。

(細野委員) 52ページの「令和3年度 男女共同参画に関する意見等申出制度事業報告」について、申出、問合せが0件となっているが、周知が足りないのではないかと感じている。インターネットや広報を活用した周知、各団体へのアンケート配布、ソレイユさがみを訪れた人に意見を求めるなどの工夫をお願いしたいと思う。また、具体的な例を挙げての質問をしたりするとよいと思う。

(事務局) 男女共同参画に関する意見等申出制度については、広報さがみはらや市ホームページなどで周知を図っているところであるが、周知方法について工夫してまいりたい。来年度、女性の活躍推進に関わる講演会あるいはセミナーの実施を検討しているため、そのような場を活用して、意見を伺うなどの方法を考えてまいりたい。

(細野委員) 性別役割分担意識の解消に関する市民へのPRは必要であると思う。10ページの平成30年度に実施した男女共同参画に関する市民意識調査において、“男は仕事”、“女は家庭”という考え方について、賛成の割合が高いとのことであるが、表記するだけでなく、インターネットで配信、若い層に相模原の現実を知ってもらう方法から始めてはどうか。例えば、多くの父親も保育園等への送迎を行っており、また、父親のイベントへの参加も多くなっているようなので、そのような場を利用してもよいのではないかとと思う。

(事務局) 市民とのパートナーシップにもとづく男女共同参画社会の実現をめざした施策を推進するため、さがみはら男女共同参画推進員を公募しており、男女共同参画に関する事業の企画・運営及び情報誌の編集など、広報・啓発活動等を実施している。情報誌の編集や啓発活動の際に、さがみはら男女共同参画推進員の方々のご意見も伺いながら、性別役割分担意識の解消などの啓発や啓発活動の場所などを考えてまいりたい。

(細野委員) 兼業主婦がこれからは主流となれるよう、主流となっているのかもしれないが、周知等工夫をしてほしい。

(事務局) 広報さがみはら、市ホームページ、講演会あるいはセミナーの場を活用するなどして、周知等の工夫に努めてまいりたい。

3 報告事項

審議会等における女性委員の参画状況(令和4年3月31日現在)について

(岩永委員) 男女の比率が各50パーセントとなることを望んでいる。

また、LGBTQ、外国人等のマイノリティの委員も増えてほしいと思う。

(小林委員) 表紙及び1ページの表題については、「女性委員(等)の“参画”状況」とあるが、内容は全て“登用”率という表記となっているため、整合性という観点から、表記について検討していただきたいと思う。

以上

相模原市男女共同参画審議会委員名簿

(五十音順)

	氏名	所属団体等	出欠
1	岩永 良子	特定非営利活動法人 かながわ女のスペースみずら	出席
2	大木 恵	相模原市自治会連合会	出席
3	大谷 幸恵	相模原市私立保育園・認定こども園 園長会	出席
4	鎌田 千代子	公募委員	出席
5	神谷 静枝	相模原市民生委員児童委員協議会	出席
6	小林 政美	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら	出席
7	篠崎 亮	神奈川県社会保険労務士会 相模原支部	出席
8	竹内 祥子	相模原市退職校長会	出席
9	徳田 晃一郎	神奈川県弁護士会	出席
10	永井 暁子	日本女子大学人間社会学部社会福祉学 科 准教授	出席
11	中西 泰子	相模女子大学人間社会学部社会マネジ メント学科 准教授	出席
12	西岡 直子	相模原市医師会	出席
13	細野 美佐子	公募委員	出席
14	松下 龍太	相模原商工会議所	出席
15	矢野 由佳子	和泉短期大学児童福祉学科 准教授	出席

敬称略